

令和5年7月

町長日誌

7月24日から4泊5日の行程で、日南町からの訪問団がモンゴルを訪問しました。モンゴル中央県は今年100周年を迎え、その記念式典への招待を受けたためです。式典には、鳥取県モンゴル中央県親善協会のみなさんも参加されていました。

鳥取県とモンゴル中央県は、1997年に「友好交流に関する覚書」を締結しています。日南町は、2018年に中央県のゾーンモド市と友好交流を結び、今年で5周年となりました。昨年はゾーンモド市からの派遣団来町もあり、私も今回で2回目のモンゴル訪問となりました。

今回の訪問先の一つとして、ゾーンモド市の日本語学校へ訪問しました。ここでは9歳から16歳の子どもたちが日本語を学んでおり、27人の生徒を代表して9人の子どもたちが弁論を発表してくれました。どの子も聞き取りやすい発音で、しっかりとした目標を発表してくれました。みんなよく勉強しているのだなと感心しました。

モンゴルには鉄道もありましたが、交通は自動車が主流でした。普通車は日本製がほとんどで、バスなどの大型車は韓国製です。首都ウランバートルの道路は、片側3車線あります。主要なところにはもちろん信号がありますが、入り乱れる車両が目に入るも、譲り合いの精神が身についているのかクラクションも少なく、驚きの光景を幾度となく見ました。

日南町が友好交流を行っているゾーンモド市は、首都ウランバートルから車で約40分の場所にあり、人口は約9万人、面積は日南町の約217倍と広大な面積を有しています。ゾーンモド市では若者の就業が困難な現状があり、日南町は人材不足という現状があります。日南町からは、「それぞれの課題解決に向けて協議していきましょう」と提案をし、今後具体的に検討を進めていきます。

また、日本語学級の生徒からは、本や漫画本がほしいとの要望がありましたので、今後対応していきたいと思います。

旅慣れしていないので、少々疲れ気味です。同行していただいたみなさん、お疲れさまでした。ありがとうございました。

令和5年7月30日 日南町長 中村英明